
令和5年度道央広域連携地域政策展開方針に係る プロジェクト推進管理表

令和6年（2024年）7月
北海道石狩振興局

道央広域連携地域政策展開方針

地域重点政策ユニット（石狩地域関係分）

- 石狩の若者の地元定着促進と道外からの人の呼び込みプロジェクト ……p.2
- 石狩観光スタイルと石狩の食の魅力ブランド化推進プロジェクト ……p.3
- 安心して子どもを産み育てられる“いしかり”環境づくり促進プロジェクト ……p.4
- 自然環境と調和した誰もが安心して暮らせる“いしかり”まちづくりプロジェクト
…………p.5
- 縄文遺跡群を活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト ……p.6
- 評価指標（K P I）一覧 ……p.7,8
- R5年度における石狩振興局の主な取組（地域政策推進事業・地域共創推進業）
…………p.9

石狩の若者の地元定着促進と道外からの人の呼び込みプロジェクト

目的

若者の道外への人口流出を抑制するため、教育機関や市町村、地元企業等との連携により、新規学卒等の地元就職・地元定着の促進を図るとともに、新たな就農環境づくりや企業誘致などによる雇用の場の創出に取り組む。首都圏などの道外から人を呼び込むため、石狩地域で生活する魅力の発信や新たな生活様式に対応した働き方を推進しながら、関係人口の創出や拡大、移住・定住の促進に取り組む。

これまでの主な取組・成果

●若者の地元定着・就業に向けた取組

[振興局、市町村、民間]

■大学卒業生や若者をターゲットにした愛着醸成の取組（振興局）

- ▶概要 要：学生の地域への理解促進や愛着醸成を図るため、大学や高校との連携により学生の地域活動を支援。
- ▶連携大学等：北海学園大学、公立千歳科学技術大学、文教大学（埼玉県）、当別高校



■高校生等対象の市内企業訪問バスツアー（恵庭市）

- ▶開催日：令和5年8月1日、2日
- ▶開催場所：市内6企業
- ▶概要 要：高校生等が市内の複数企業をバスで訪問し、業務の内容や雰囲気を実際に知る事で、地元での就職を希望することに繋げる。また、企業における新規学卒者等、若年層の人材確保を図る。

●地域産業の活性化や企業誘致等による雇用の場の創出

[振興局、市町村、民間]

■小麦追跡学習（江別市）

- ▶開催日：令和5年7月4日、14日、10月16日、19日、23日、24日
- ▶場所：市内生産者ほ場、都市と農村の交流センターえみくる
- ▶概要 要：実施希望の意向がある市内小学校に対し、小麦畑の見学・市内製粉製麺会社の出前授業・江別産小麦を使用したピザづくり体験を実施。



●道外からのU・I・Jターンの促進

[振興局、市町村、民間]

■移住者専用のホームページの開設（千歳市）

- ▶概要 要：千歳市への移住を考えている方に、千歳市はどんなまちなのかといった情報から、移住後の生活を想像できるようなリアルな情報まで幅広く掲載しているサイト。市内のスーパー、公共施設等、主要な施設の分布図「住まいのマップ」は仕事・住宅探しをするときに活用できる。



主な評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
新規大卒道内就職者の3年以内の離職率	36.4%（R1）	35.7%（R5）	前年度より改善	—
石狩地域の新規学卒・参入者の就農者数	16人（R2）	R6年11月頃公表予定	延べ80人増（R3～R7）	—
若年層（15～29歳）の首都圏への転出超過数	3,352人（H30）	3,242人（R5）	3,139人（R6）	96.8%

R6年度の主な取組

- 管内大学と連携した大学生の地域活動や体験ツアーによる若者の地元定着の促進 [市町村、民間、振興局]
- セミナーや勉強会による農商工連携や6次産業化の推進 [市町村、民間、振興局]
- ポータルサイトや移住フェア参加を通じた、関係人口の創出・拡大、移住・定住の促進 [市町村、民間、振興局]

石狩観光スタイルと石狩の食の魅力ブランド化推進プロジェクト

目的

道内をはじめとした国内外の交流人口や関係人口の拡大を図るため、都市と自然とを十分に満喫することができる石狩地域の特性を活かし、地域や観光事業者等との連携により魅力ある観光情報やさらなる発展が期待される地域の魅力を発信しながら、観光客を石狩地域へ誘引する取組を進めるとともに、おもてなし環境の整備やワーケーションなどを取り入れた新たな観光メニュー開発や地域の食のブランドづくりを推進する。

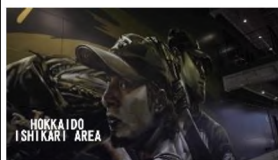
これまでの主な取組・成果

●石狩観光スタイルの推進に向けた魅力発信

[振興局、市町村、民間]

■観光客を管内へ誘引するプラスワン観光の推進（振興局）

▶概要：令和5年3月に開業した「北海道ボールパークFビレッジ」（北広島市）をはじめ、グリーンシーズンを代表する管内観光スポットを紹介するPR映像を制作し、イベントでの放映やInstagram広告を配信し、消費者へ広く周知した。
また、道内外で開催した「いしかりフェア」などの各種プロモーション等の機会を活用し、管内の観光や食の魅力について積極的なPRを実施した。



■天文台施設の整備（新篠津村）

▶概要：大型望遠鏡を備えた「しんしのつ天文台」を整備。天文台は、格納庫全体がスライドする道内初の全国でも珍しいフルオープン式。設置する望遠鏡は道央圏最大級の「口径50cmカセグレン式反射望遠鏡」。この望遠鏡は、肉眼の約5100倍の集光力を持ち、遠い銀河や星雲・星団もしっかりと観ることができる。天文台には75インチの液晶モニターも完備し、CMOSカメラによる電子観望も可能。



●様々な観光客に向けた

おもてなし環境の整備・充実

[振興局、市町村、民間]

■宿泊施設に対する外国人等の多様な観光客の

受入環境整備に係る経費の補助の実施（札幌市）

▶概要：市内宿泊施設が実施する外国人等の多様な観光客の受入環境整備（多言語対応、SDGsへの取組、緊急時対応、多様な文化等への対応）に係る経費に補助金を交付。

▶実績：22件（令和5年度補助実績）



●新たな観光メニューの開発や地域の

食のブランド化の推進と魅力発掘

[市町村、民間、振興局]

■赤毛米を題材としたバスツアーの開催（北広島市）

▶開催日：令和5年9月3日

▶場所：旧島松駅通所、タカシマファーム 外

▶概要：7組19名が、旧島松駅通所において中山久蔵や赤毛米の歴史の学習や、現在も赤毛米を栽培しているタカシマファームの見学をしたほか赤毛米粉をつかったクレープづくりに挑戦した。



主な評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
観光入込客数	1,336万人（R2）	R6年9月頃公表予定	3,100万人（R7）	—
農商工連携・6次産業化支援データベースの新規登録件数	12件（R2）	5件（R5）（累計32件）	累計38件以上（R6）	84.2%
石狩の食の商品開発及び販路拡大等の相談機会の確保（相談件数）	28件（R4）	16件（R5）（累計44件）	累計60件以上（R6）	73.3%

R6年度の主な取組

- 国内外での積極的なプロモーション活動やSNSの活用などにより観光客を札幌周辺地域へ誘引するプラスワン観光の推進 [振興局]
- ウェブサイトやSNSによる観光情報の発信 [市町村、民間、振興局]
- 多言語化での地域のおもてなし環境の整備 [市町村、民間、振興局]

安心して子どもを生み育てられる“いしかり”環境づくり促進プロジェクト

目的

少子化などによる地域活力の低下に歯止めをかけるため、都市地域の特性や課題を踏まえながら、市町村等と連携し、地域で出産・子育てを支え見守る取組の充実を図るとともに、子育てをしながら働き続けられるよう、企業に対して誰もが働きやすい職場環境づくりに向けた取組を実施する。

これまでの主な取組・成果

●出産・子育てを地域で支える環境づくり [市町村、民間、振興局]



■地域子育て支援拠点職員セミナーの開催 (振興局)

- ▶開催日：令和6年2月1日
- ▶場 所：北海道立道民活動センターかでの2・7
- ▶参加者：15名（拠点職員及び行政職員）
- ▶内 容：子育て支援を行っているNPO法人の代表理事やWEBライターを講師に招き、現代の子育ての実情やSNSを活用した情報発信に関する講演を行ったほか、拠点の取組や課題等の共有を目的としたグループワークを実施。



■転入親子ウェルカム交流ツアーの実施 (千歳市)

- ▶開催日：令和5年7月3日
- ▶場 所：げんきっこセンター、新千歳空港（ドラえもんわくわくスカイパーク・ロイズチョコレートワールド）
- ▶概 要：転入して間もない親子を対象としたバスツアーを開催し、市内の子育て関連施設の見学及び子育て支援センターを活用した親子交流の機会を提供した。

●働き方改革やワーク・ライフ・バランス実現に向けた企業の意識醸成 [市町村、民間、振興局]



■札幌市ワーク・ライフ・バランスplus

企業認証制度の実施 (札幌市)

- ▶概 要：働きやすい職場環境の整備を目指し、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍を推進するための取組を行う企業を認証している。
- ▶実 績：認証企業数1,001社（令和5年度末時点）



■企業向けに専門家を招いたセミナーの実施 (江別市)

- ▶概 要：市で設置している就労支援施設「江別まちなか仕事プラザ」にて講師を招き、職場定着や早期離職防止に係るセミナーを実施した。
- ▶実 績：令和5年度 開催回数2回
 - ・令和5年9月5日 13時～15時
参加社数 5社
 - ・令和5年11月7日 13時30分～15時30分
参加社数 3社

主な評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
地域子育て支援拠点数	36拠点 (R2)	38拠点 (R5)	38拠点 (R6)	100.0%
北海道働き方改革推進企業認定制度の認定企業数	109企業 (R2)	153企業 (R5)	204企業 (R7)	75.0%

R6年度の主な取組

- 管内小中学生の地域愛着及び誇りの醸成を促進するため、小中学校への出前授業、体験学習の実施 [振興局]
- アプリ等を利用した子育て支援等の情報発信 [市町村、民間、振興局]
- ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、意識啓発セミナーの開催や認定制度の推進 [市町村、民間、振興局]

自然環境と調和した誰もが安心して暮らせる“いしかり”まちづくりプロジェクト

目的

地域の住民一人一人が安心して暮らし続けることができるよう、環境や生態系の保全、脱炭素（ゼロカーボン）の取組促進、不法投棄防止対策などにより豊かな自然環境を守り育てるとともに、地域コミュニティ機能の維持・発揮に向けた取組や感染症対策を踏まえた防災対策の推進など、誰にとっても住みやすく災害に強いまちづくりに取り組む。

これまでの主な取組・成果

●豊かな自然環境を守り育てる取組の推進 [振興局、市町村、民間]



■環境普及啓発事業

「FEELD GOOD FES」出展（石狩市）

- ▶開催日：令和5年6月17日、18日
- ▶場 所：石狩湾新港地域特設会場
- ▶概 要：環境と親和性の高い本イベントに出展し、環境問題に対する自発的な行動変容やライフスタイルの選択を促した。
（アンケート回収数：266人）
包括連携協定締結事業者の運営協力有。



■コミュニティバスにおけるバイオディーゼル燃料の活用（当別町）

- ▶概 要：「当別ふれあいバス」では、地域住民や飲食店等から使用済みのてんぷら油を回収し、BDF（バイオ・ディーゼル・フューエル）を精製・製造し、バスの燃料として使用している。BDF燃料の精製では、運行事業者である下段モータースが使用済みてんぷら油を「回収」、「精製」、そして「バスでの使用」を一気通貫で行うことにより、製造コストの圧縮や製造過程でのCO₂排出削減に繋がっている。

●誰もが安心して暮らせる社会の形成 [振興局、市町村、民間]

■不法投棄監視パトロール（振興局、各市町村）

●防災対策の強化による安全なまちづくり [市町村、民間、振興局]

■札幌管区气象台と「防災情報に関する担当者会議」の共催（振興局）

■防災に関する講座や講習会等の開催（各市町村）

主な評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
協働により実施する石狩地域での木育活動	12回（R1）	18回（R5）	22回（R7）	81.8%
石狩地域のエゾシカ捕獲推進プラン目標数の達成	—	2,689/2,700（R5）	毎年度設定	99.6%
石狩地域の自主防災組織 活動カバー率	61.6%（R2） （全国平均値 84.3%）	88.1%（R5） （全国平均値 85.4%）	全国平均値	103.2%
石狩地域のクリーンパートナー登録団体数	96団体（R2）	115団体（R5）	150団体（R7）	76.7%

R6年度の主な取組

- 有害鳥獣捕獲業務やヒグマの防除・駆除 [市町村、民間、振興局]
- 脱炭素（ゼロカーボン）の取組への関心と理解を深めることを目的とした普及啓発を実施 [市町村、民間、振興局]
- 関係機関との情報共有会議等の場を通して、市町村並びに防災関係機関との連携強化を推進 [市町村、民間、振興局]

縄文遺跡群を活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト

【推進エリア】道南連携地域（渡島地域、檜山地域）【連携地域を越えて取組を推進するエリア】石狩地域、胆振地域

目的

先人から受け継いだ貴重な財産への理解を深め、郷土の誇りと愛着を再認識することで、次世代へ継承していくとともに、この魅力ある地域資源を活用し、観光など地域産業の活性化に繋げていく。

これまでの主な取組・成果

●縄文文化の魅力発信と次世代への継承の推進

■縄文プロモーションの実施〔縄文道民会議、市、振興局〕

・「JOMON FESTIVAL 2024 縄文雪まつり」の開催

開催日：令和6年2月3日、4日

場所：チ・カ・ホ北3条交差点広場西

概要：世界文化遺産である縄文遺跡群を活用し、石狩、胆振、渡島各地区の周遊を促進するため、それぞれの遺跡と合わせて、縄文クイズや、縄文グッズ、パンフレットの配布等、管内の観光PRを実施。



■縄文文化に関する情報の発信〔振興局〕

・「北の縄文パネル展」の開催

期間：令和6年1月11日～26日

場所：函館市地域交流まちづくりセンター

概要：縄文遺跡群や縄文文化を幅広く発信するためパネル展を開催。「JOMON CULTURE STYLE BOOK」、フォトコンテストの入賞作品の展示や、縄文に関するパンフレット等を配布。



●遺産を活用した誘客促進

■縄文文化を活用した青函交流の促進〔青函圏交流・連携推進会議、振興局〕

・「青函圏フォーラム×JOMONフォーラム」の開催

開催日：令和6年3月14日

場所：プレミアムホテル - CABIN
PRESIDENT - 函館

概要：縄文遺跡群の構成資産である大船遺跡・垣ノ島遺跡をはじめとする縄文文化の魅力や価値の向上並びに活用を図るとともに、青函圏域の交流・連携の促進を目的にフォーラムを開催。



■モニュメントの設置〔ライオンズクラブ国際協会、市〕

・北黄金貝塚公園のモニュメント設置

場所：北黄金貝塚公園

概要：北黄金貝塚が世界遺産に登録されたことを記念し、北黄金貝塚から発掘されたホタテをモチーフにしたモニュメント『Nine Incentives H.』を設置。



評価指標（KPI）

渡島管内への観光入込客数

基準値（基準年）

688万人（R2）

実績値（実績年）

1,160万人（R5）

目標値（目標年）

1,371万人（R6）

進捗率

84.6%

R6年度の主な取組

■縄文文化継承の担い手意識醸成に向けた、地元高校生による幼児・児童向けに縄文の魅力を伝える普及活動等の実施〔振興局〕

■公共施設等でのパネル展等の実施、企業と連携した縄文文化の普及啓発イベントの開催〔振興局等〕

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
石狩の若者の地元定着促進と道外からの人の呼び込みプロジェクト	新規大卒道内就職者の3年以内の離職率	36.4% (R1)	34.6%	33.9%	35.7%			前年度より改善 (R7)	—
	石狩地域の新規学卒・参入者の就農者数	16人 (R2)	14人	8人 (延べ22人)	R6年 11月頃 公表予定			5年間(R3~R7) で延べ80人増	—
	若年層（15～29歳）の首都圏への転出超過数	3,352人 (H30)	2,400人	2,782人	3,242人			3,139人 (R6)	96.8%
石狩観光スタイルと石狩の食の魅力ブランド化推進プロジェクト	観光入込客数	1,336万人 (R2)	1,577万人	2,324万人	R6年 9月頃 公表予定			3,100万人 (R7)	—
	農商工連携・6次産業化支援データベースの新規登録件数 (R2～R6の5年間で新規登録38件以上)	12件 (R2)	8件 (累計20件)	7件 (累計27件)	5件 (累計32件)			累計38件以上 (R6)	84.2%
	石狩の食の商品開発及び販路拡大等の相談機会の確保（相談件数） (R4～R6の3年間で60件以上)	28件 (R4)	—	28件 (累計28件)	16件 (累計44件)			60件以上 (R6)	73.3%
安心して子どもを生み育てられる“いしかり”環境づくり促進プロジェクト	地域子育て支援拠点数	36拠点 (R2)	36拠点	37拠点	38拠点			38拠点 (R6)	100.0%
	北海道働き方改革推進企業認定制度の認定企業数	109企業 (R2)	139企業	149企業	153企業			204企業 (R7)	75.0%
自然環境と調和した誰もが安心して暮らせる“いしかり”まちづくりプロジェクト	協働により実施する石狩地域での木育活動	12回 (R1)	13回	19回	18回			22回 (R7)	81.8%
	石狩地域のエゾシカ捕獲推進プラン目標数の達成	—	1,736 /1,800	2,045 /2,700	2,689/ 2,700			毎年度設定	99.6%
	石狩地域の自主防災組織活動カバー率	61.6% (R2)	65.4% (84.4%)	65.5% (84.7%)	88.1% (85.4%)			全国平均値	103.2%
	石狩地域のクリーンパートナー登録団体数	96団体 (R2)	97団体	102団体	115団体			150団体 (R7)	76.7%

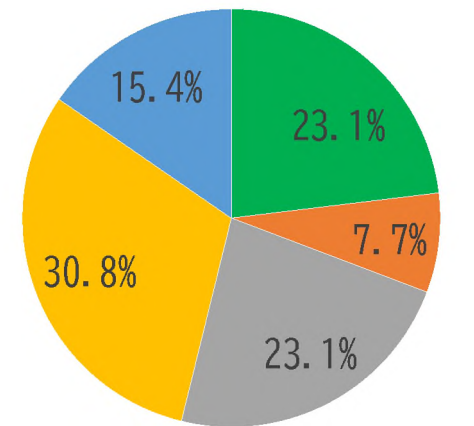
評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
縄文遺跡群を活用した 魅力発信と誘客促進プ ロジェクト	観光入込客数（渡島地域）	688万人 (R2)	774万人	1,023万人	集計中			1,371万人 (R6)	—
	〃（檜山地域）	105万人 (R2)	102万人	113万人	集計中			150万人 (R6)	—
	〃（胆振地域）	931万人 (R2)	948万人	1,418万人	集計中			1,764万 (R6)	—
	〃（石狩地域）	1,336万人 (R2)	1,577万人	2,324万人	R 6年 9月頃 公表予定			3,100万人 (R7)	—
	多言語化など、縄文文化の理解促進 に向けて新たな取り組みを行った施 設数（渡島地域）	1施設 (R2)	10施設	11施設	集計中			11施設 (R7)	—

分析・対応方向

- ・13の評価指標のうち、進捗率50%を超える指標が9つあり、そのうち進捗率80%以上が6つとなっており、2つの指標が目標値を達成。
- ・若年層（15～29歳）の首都圏への転出超過数は、基準値より下回っているものの、令和4年度より悪化しているため、引き続き、管内大学と連携した大学生の地域活動や小中学校への出前授業・体験学習の実施等による若者の地元定着の促進を図り、指標の推移を注視していく。
- ・観光入込客数については、コロナ禍前の水準に戻りつつあることから、今後も国内外での積極的なプロモーション活動やSNS活動などにより観光客を札幌周辺地域へ誘引するプラスワン観光の推進をしていく。
- ・北海道働き方改革推進企業認定制度の認定企業数が増加傾向にあり、順調に推移している。都市地域の特性や課題を踏まえながら市町村等と連携し、安心して子どもを生み育てられる環境づくりに向けた取組を実施する。
- ・令和6年度も引き続き各市町村や関係機関と連携しながら、各プロジェクトの目標達成に向け、取組を推進してまいる。

評価指標全体の進捗率



■ 今後、公表予定
 ■ 10～50%未満
 ■ 50～80%未満
■ 80～100%未満
 ■ 100%以上

R 6 年度における石狩振興局の主な取組（振興局独自事業）

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
「いしかりstyle」プラスワン観光推進事業	旅に「プラスワン」の価値を添える管内の周遊や体験型観光を推進し、多様化する観光ニーズに対応可能で誰もが旅を存分に楽しむことができる「いしかり観光スタイル」を国内外に積極的にPRする。	②
いしかりの食のブランド化推進事業	新たな食の価値の拡大・定着を目指し、各市町村や地域ならではの食の魅力づくりや魅力発信に向けた取組を実施する。併せて、国内外に向けた魅力発信を実施する。	②
いしかり農業Style受入地域づくり事業	石狩農業の将来を見据え、今後急増が見込まれる離農農家の資産（農地等）・技術を次の世代に繋ぐため、新規就農者の増加を目指し、地元の受入体制強化を推進し、就農研修生の石狩管内での就農増加を図る。	①
いしかり地域おこし協力隊定住・定着促進事業	石狩管内における地域おこし協力隊員の確保や任期後の定住・定着に向けた取組を行うとともに、いしかり地域おこし協力隊ネットワークの自走化を見据え、任期中の隊員の活動や交流促進を支援する。	①
「いしかりシビックプライド」醸成こども応援事業	石狩管内において、安心して子どもを生み育てられる環境づくりを促進するとともに、自然環境と調和した誰もが安心して暮らせる社会を形成するため、子どもや子育て家庭を地域で支える体制の充実や環境に配慮したゼロカーボン北海道の推進等を通じ持続可能な地域づくりを推進する。	③
いしかり・ライフstyle魅力発信・若者定着促進事業	札幌圏における人口減少問題に適切に対応するため、道や市町村をはじめとする関係機関の連携体制の下、管内ならではのライフスタイルの発掘発信や大学生等の若者の地元定着・人材還流の促進に向けた取組を実施する。	①

※石狩地域が推進するプロジェクト

①石狩の若者の地元定着促進と道外からの人の呼び込みプロジェクト	②石狩観光スタイルと石狩の食の魅力ブランド化推進プロジェクト
③安心して子どもを生み育てられる“いしかり”環境づくり促進プロジェクト	④自然環境と調和した誰もが安心して暮らせる“いしかり”まちづくりプロジェクト
⑤縄文遺跡群を活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト	